

約100名が初会合

< 設立趣意書 >

東回り区間の開通から10年以上が経過した東海環状自動車道沿線では、沿線市町に49箇所の工業団地が整備され、約130企業が立地し、約3万人の雇用が創出される等、東海環状自動車道のストック効果によるまちづくりが促進されている。現在、西回り区間においては、平成28年度から平成31年度までの開通見通しが一部区間で示されており、1日も早い全線開通に向け事業が進められている。道路の開通見通しが示されることで、道路の開通を見据えた企業立地や、地域の観光資源を生かした観光開発等が進められている。

今後、これらの民間投資の需要の更なる高まりが見込まれる中、東海環状自動車道のストック効果を最大限活用し、持続的なまちづくりを促進することが重要である。

一方、民間企業においても、生産性の高い経済活動を展開する上では、インフラを賢く使うことが有効であるため、そのユーザーである企業等の意見をまちづくりに反映させることは、極めて重要である。

そのためには、**自治体や経済団体等がまちづくりの情報を共有し、連携して対応していくことが必要不可欠**である。

本会は、東海環状自動車道を活用する自治体や企業等が協力し、アクセス道路や地域開発計画等を含めたストック効果を取りまとめ、情報共有を行うことにより地域開発への理解を醸成し、工業、商業、農業、観光等の幅広い協力を得ることでストック効果の最大化を図り、地域の持続的なまちづくりを支援することを目的として設置するものである。

< 第1回 成果文書 >

インフラを賢く使うまちづくりのための東環利活用会議活動指針

私たちは、東海環状自動車道の利活用を促進し、アクセス道路等の地域開発を連携して実施することで、更なる民間投資の需要を喚起し、**ストック効果の最大化による持続可能なまちづくりを支援**するため、以下の取り組みを推進する。

1. 東海環状自動車道の利活用に関する取り組み

(1)東海環状自動車道等の地域の基幹となる広域道路ネットワークがどのように利活用されているか把握し、地域開発の基礎資料とすると共に情報共有を図ることで、的確なまちづくり計画策定に繋げる。

(2)東海環状自動車道西回りが地域経済に与える効果を事前に把握し、企業等に対して情報共有を図ることで、更なる民間投資に繋げる。

2. インフラ整備のストック効果に関する取り組み

(1)東海環状自動車道インターチェンジへのアクセス道路、工業団地、住宅団地等の地域開発計画を連携して「見える化」し、情報共有を図ることで、更なる民間投資の需要を喚起する。

(2)インフラ整備を見据えた企業活動等の様々なストック効果を継続して把握し、情報共有を図ることで、同種の新規事業に期待される効果の予測に繋げる。

(3)インフラ整備のストック効果を最大化する取り組みを官民が連携して実施することで、地域の魅力を向上し賑わいの創出に繋げる。

3. 各種広報啓発活動等の実施

(1)インフラ整備のストック効果を、地域に実感してもらえるような情報提供活動を推進し、新たな地域開発に対する理解を醸成する。

(2)地域のまちづくりに関する取り組みやイベント等について、容易に情報が検索出来る仕組みを整備し、来訪し易い環境を整えることで地域の活性化に繋げる。

4. 工業、商業、農業、観光等の幅広い「生の声」の把握

(1)地域のまちづくりを効果的・効率的に実施するため、まちづくりに関する企業等の『生の声』を把握し、情報共有を図ると共に、官民が連携して適切に対応することで企業等の生産性向上に繋げる。

(2)関係機関が連携・協力し、まちづくりの課題解決に取り組み、より良い地域を目指す。

【第1回東海環状西回り利活用促進会議 参加機関】

代表理事：岐阜県、三重県

理事：

(19市21町)岐阜市、大垣市、多治見市、関市、美濃市、羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、坂祝町、富加町、八百津町、御嵩町、四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菟野町、朝日町、川越町

(16経済団体)岐阜商工会議所、大垣商工会議所、関商工会議所、各務原商工会議所、羽島商工会議所、四日市商工会議所、桑名商工会議所、鈴鹿商工会議所、亀山商工会議所、楠町商工会、桑名三川商工会、いなべ市商工会、木曾岬町商工会、東員町商工会、菟野町商工会、朝明商工会

オブザーバー：国土交通省中部地方整備局、中日本高速道路(株)名古屋支社

協力機関：旭金属工業(株)、日本トランスシティ(株)、JA全農岐阜、長島観光開発(株)



第1回 東海環状西回り 利活用促進会議

< 議事次第 >

- 開会挨拶 三重県 県土整備部長
- 開催地挨拶 いなべ市長
- 設立趣意及び規約
- 事業者挨拶・説明 国土交通省中部地方整備局 道路部長
- 意見発表
 - 中村 止 旭金属工業株式会社 専務取締役
 - 平野 理 日本トランスシティ株式会社 専務取締役
 - 川下 健司 JA全農岐阜園芸部 直販事業課長
 - 水野 正信 長島観光開発株式会社 代表取締役社長
 - 今岡 和也 岐阜市 副市長
- 議論 『東環利活用会議の方向性について』
- 閉会挨拶 岐阜県 県土整備部長

◇日時：平成28年7月14日(木) 13:00~14:30

◇場所：いなべ市藤原文化センター2階ホール

第1回 東海環状西回り利活用促進会議 開催概要

<開会挨拶> 三重県県土整備部長



水谷 優兆

- ◇東回り区間は、沿線への企業立地や雇用創出など地域活性化に寄与しています。西回り区間の沿線では、道路の開通を見越し、既に観光開発や企業立地が進められています。
- ◇効果的で戦略的な整備促進の取組みを行うため、道路整備を期待する人々が、**県を越えて一堂に会し、情報の交換や沿線全域の状況を把握**する場として、本会議を発足したいと考えていました。
- ◇西回り区間の完成が、沿線区域のみならず、より**広域的にさまざまな好循環をもたらすと確信**しています。
- ◇本会議が有意義な情報交換の場となるようご協力をお願いしたい。

<開催地挨拶> いなべ市長



日沖 靖

- ◇いなべ市には、トヨタ車体、デンソー、神戸製鋼、太平洋セメントなど、1日に数千台の大型車両が入りする工場があるため、**利用者の立場にたち、道路の必要性について要望**していただいています。
- ◇昨今、命の道という表現が聞かれます。東日本大震災でも高速道路が命を守り、災害復旧に大きな役割を果たしました。それに加え、この地域はものづくりの地域なので、**国際競争力を保つ意味でも、高速道路はなくてはならない道**です。
- ◇**税収入を上げ、雇用を確保するためにも必要な道**であると、色々な立場から発信をしていただき、早期完成に向けてご尽力いただくようお願いしたい。

<事業者挨拶・説明> 中部地方整備局道路部長



小野寺 誠一

- ◇道路の開通前にこれだけ多くの関係者、また県をまたいで利活用会議を発足するのは、**全国的にもほとんど例がない先駆的な取組み**です。
- ◇埼玉県では、圏央道のIC周辺において企業立地を進めるため、県と市が連携を図っています。新東名においては、官民連携による観光協議会を設立し、PRやイベントを行ったり、道の駅にも案内役において観光プランを紹介しています。紀勢線においては、官民協議会を作り、売り込みを行う等、市場を開拓してきた効果が表れています。道路だけでなく、**自治体の取組みとの相乗効果で効果が増加**していると考えられます。
- ◇開通を見据えて、官民が共同で取り組むことにより、道路の相乗効果がさらに上昇します。**完成が目標ではなく、開通後、いかに地域づくりのツールとして活用するか**、こういった場でご議論いただければと思います。

<閉会挨拶> 岐阜県県土整備部長



高木 善幸

- ◇無事に会議を発足できたこと、お礼を申し上げます。意見発表においても、各分野の皆様より大変貴重な意見をいただきました。
- ◇改めて、**東海環状自動車道及びアクセス道路の整備に対する期待の大きさを再認識**しました。
- ◇西回り区間は、三重県と岐阜県を直接つなぐ、はじめての高規格幹線道路です。今後、利活用促進会議において、**両県が連携し、関係機関の皆様のご協力をいただきながら沿線地域のストック効果の最大化を図り、地域の持続的なまちづくりを支援**していきたい。

<議論> 『東環利活用会議の方向性について』

- ◇東海環状の利活用は**地域の責務**だと思っています。(大野町)
- ◇各地域が持っているデータを用い、ワーキンググループで生の声を交わし、よりよい活動を行っていくことにより、民間投資も加速すると考えています。(いなべ市)
- ◇市町の枠にとらわれず、**地域をまたいだ情報交換の場として、この利活用会議を活用できれば、ストック効果を最大限に享受できるのではないかと**考えています。(岐阜商工会議所)
- ◇工場を建設するにあたり、**複数の地域をまたいだ取付け道路を整備する必要が出てくる場合は、この会議により、参画団体の施策に反映することを望みます**。(岐阜商工会議所)
- ◇西回りの開通は、**地の利を高め、地域のますますの発展につながります**。早期の発展を目指した情報共有等を図り、官民一体となった要望活動を行っていきたくです。(四日市商工会議所)

<意見発表>

【製造業】旭金属工業株式会社 専務取締役 中村 止 氏



- ◇高速道路により、**コスト競争力の向上、商談機会の増加、クラスターの広域化が期待**され、これらが**日本の経済成長に寄与**すると考えています。
- ◇**道路の整備による活性化策を国も県も我々も一緒になって取り組む必要がある**と思っています。
- ◇高速道路ができて、一番の問題は**そこへのアクセス道路**です。一般の国道、県道も**一体的に整備をしないと、下道で大渋滞し目的が果たせません**。
- ◇**インフラ整備(道路)は経済発展につながります**。

【運輸業】日本トランスシティ株式会社 専務取締役 平野 理 氏



- ◇物流業界は、**トラックドライバーの不足が大きな問題**となっており、**運行効率の向上で対応していくことが重要課題**です。
- ◇産業拠点、倉庫、港湾を結ぶものは道路です。**道路がネットワークとしてつながることで、物流の効率化に大きく寄与**します。
- ◇**三重の水産物、岐阜の野菜・果物などを四日市港から輸出**していきたい。
- ◇新しいネットワークとなる**東海環状自動車道の開通により、地域全体の成長が期待**できます。

【農業】JA全農岐阜園芸部 直販事業課長 川下 健司 氏



- ◇西回りの開通により、**関西方面への出荷拡大を期待**しています。
- ◇西回り開通後は、**飛騨から直接配送されている便を活用し、各ICに農協の集荷場をつくり、沿線の青果物を混載して配送**することを考えています。ICを降りずに、ICで積み込めるような形が理想であるため、検討をお願いしたいです。
- ◇**西回りによる時間短縮によって、京阪神地区への着荷時間を変えずに配送が可能**となり、京阪神地区へ**周年供給ができること**で、**有利販売につながります**。
- ◇**東海環状自動車道が産地と消費者を、また青果物と人をつなぎ、地域の活性化に直接結び付くような自動車道になるとよい**と考えます。

【観光業】長島観光開発株式会社 代表取締役社長 水野 正信 氏



- ◇現在、**約4割の来場者が伊勢湾岸を利用**しており、**往路復路において大きく渋滞が緩和**されました。
- ◇**東海環状の西回りが開通することにより、岐阜方面からの来客が増える**と期待しています。
- ◇高速道路により、**新たな観光ルートができることは大変期待**が大きいです。
- ◇各地方自治体の方の期待も大きいでしょう。ただ、**車でおみえになる方をいかに渋滞に巻き込まないようにするか、地域住民にも観光客が増えることへの理解をいかにしてもらうかが必要**になってきます。

【まちづくり】岐阜市副市長 今岡 和也 氏



- ◇岐阜市では①レジャー・スポーツ・レクリエーション、②ものづくり産業などの企業誘致、③観光・歴史・文化、④農業振興、⑤高度医療の支援の5つの視点から東海環状自動車道西回りを見据えたまちづくりを進めています。
- ◇東海環状で全国各地から岐阜市に来ていただけるような環境が整備されることが、岐阜の歴史・文化等を**全国へ発信するための大きなツール**になります。
- ◇道路の整備効果は、**近接した地域だけではなく、少し離れた地域にまで幅広く及びます**。
- ◇**岐阜市だけではなく、周辺市町の官民をあげて地域づくりを進め、東海環状が完成するのみにとどまることなく、地域づくりを頑張りたい**。